

G研 「たとえば」をつかった思考力を育てる道徳授業の工夫

第5学年 道徳学習指導案

- # 高学年としての自覚をもって 「バトンをつなげ」 4-(6) 学校愛

3つめに、今まで先輩たちがおこなってきたことについても感謝・尊敬することができます。自分たちがいろいろな先輩から支えてもらって生活してきたことを実感できる。また、この時期ぐらいから高学年として自覚をもって行動することから、少しずつ最高学年を意識した行動が必要になってくると考えられる。最高学年の6年生が、どのような活動をしたいのか、どんな気持ちで取り組んでいるのかを考え、意識することによって、これから最高学年をむかえる学校生活に生かされると考えられる。

学年当最初に会員組織の取り組みをするのが、この活動が抜擢されるに至るまでの経緯が、まさにこのように一步一步進んでいくのである。

縦割り掃除においては、自分の仕事はきちんとしようと心がけているが、まわりの低学年を助けていたり、みんなが充実して、きるようと考えたりするまでには至っていない。また、1年生を見て、「すごい」「わたしたちには、まだできない」という声が聞かれた。このことから、まだ最高学年が近づいているという意識は、あまりもてない。

- 本うい資料どる会を受領する。これはと員すて生を送る会の当目、一生懸命取り組んでいるが、なかなかうまくいかなかった。学校生活において高学年としての自覚をもちながら、学校全体のことを考えよ。学校設定であります。子と考える。学校面つがつな生の本間さんは、「六年生を送る会」全校ゲームの担当になり、計画・場にでめで5年いとる。そこで、6年生の市川さんから「わたしたちのバトンを、しっかり集めます」と言われ、バトンについて考える。

「六年生を送る会」の当日、いといたうのうちに一生懸命取り組んでいたが、なかなかうまくいかなかった。あくまでも、なんとか会を終えることができた。会が終わってから、6年生がすすんでいた「わざ」として、市議会で本題では主に次のようにおこなう。

○ よりよい学校にしていくことの大切さに気づき、高学年としての自覚をもって学校での役割を果たしながら学校生活に取り組んでいこうとする態度を育てる。

5. 準備資料「バトンをつなげ」、道徳ノート、挿絵、委員会活動の写真、アンケート、表情図、  
　　プラカード、心のノート、サインペン

## 6. 学習展開

	学習展開	教師の支援
導入	<p>1. 委員会活動をしているときの写真を提示し、委員会活動をしているときの自分について振り返り、めあてについて話し合う。</p> <p>・一生懸命しようと思っている。 ・楽しくしたい。 ・遊びたいなあ。 ・きついなあ。</p> <p>めあて 高学年として、何が大切か考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもたちが委員会活動のとき、どんなことを考えながら活動しているのか把握できるように事前にアンケートをとつておく。</li> </ul>
展開前段	<p>2. 資料「バトンをつなげ」を読み、バトンの意味について話し合う。</p> <p>(1) 資料「バトンをつなげ」を範読する。</p> <p>(2) 6年生のことを考えて、「六年生を送る会」の計画をたてているとき</p> <p>・がんばるぞ ・6年生に喜んでもらうぞ ・うまくできるかな</p> <p>(3) 6年生がすすんで動いているのを見たとき</p> <p>・なんでうまくいかないんだろう ・これじゃ喜んでもらえない ・6年生はすごいなあ</p> <p>(4) 「私たちのバトン受け取ってくれたね」と市川さんから言われたとき</p> <p>・わたしたちにもできた。 ・喜んでもらえたからうれしい。 ・6年生を送る会なのに手伝ってもらつてしまつた ・わたしたちがしなければいけなかつた ・6年生みたいにみんなのことを考えることができるようになりたい ・次はうまくいくようになんぱりたい</p> <p>6年生のよさを引きつぐことが大切</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料「バトンをつなげ」の内容を理解することができるよう説明を入れながら範読する。</li> <li>○ 場面の様子を視覚的に捉えることができるよう挿絵を提示する。</li> <li>○ 本間さんの考え方の変容を視覚的に捉えることができるよう構造的な板書にする。</li> </ul>
展開後段	<p>3. 自分たちが引きつぐことについて話し合う。</p> <p>(1) 自覚をもって取り組んだ6年生の作文について話し合う。</p> <p>(2) 教師の説話</p> <p>(3) 自分たちが引きつぎたいことや高学年を意識して取り組んだことについて話し合う。</p> <p>・委員会活動で責任もってしたい ・縦割り掃除で低学年とがんばった ・困っている低学年にやさしくしたい ・低学年にゆずってあげた</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもたちが主人公になりきって考えることができるよう資料を事前に空欄にしておく。</li> <li>○ 自分の考えを明確にすることができるよう道徳ノートに書かせる。</li> <li>○ 子どもたちが考えを細かく表現することができるよう表情図で表現させる。</li> <li>○ 子どもたちの考え方を視覚的に分かるよう表情図をプラカードにはさみ発表させる。</li> </ul>
終末	<p>4. 今日の学習で何がわかったかについて話し合う。</p> <p>(1) 今日の学習で何がわかったか道徳ノートに書く。</p> <p>(2) 今日の学習で何がわかったかについて話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもたちの最高学年にむけての意識を高めるために6年生の子どもに作文を読んでもらう。</li> <li>○ 高学年として自覚をもって取り組むことが具体的に表現することができるよう「たとえば」をつかって発表させる。</li> <li>○ 高学年として自覚をもって取り組んだことを振り返ることができるよう心のノートを見るように助言する。</li> </ul>

委員会活動をしていくとき

一生けんめいしよう  
遊びたいなあ  
きついたいなあ

めあて

高学年として何が大切か考えよう

バトンをつなげ

六年生を送る会の計画  
をたてているとき

がんばるぞ  
よろこんでもらうぞ  
うまくできるかな

わたしたちのバトン

六年生のよさを  
ひきつぐ

すすんで動く六年生を見たとき

なんでもうまいかないんだろう  
よろこんでもらえなさいなあ  
六年生はすごいかつた

「わたしたちのバトンを受け取ってくれたね」

表情図

次六わ手よわ  
は年た伝ろたし  
う生しつこしま  
みたてんちもで  
くたちもがら  
いいがらしもで  
かにしつらでき  
せななてえたり  
けられまか  
よたばれば  
うにがんば  
ううれしい  
いたうれし  
なかつた

挿 絵

## バトンをつなげ

組名前

めあて

高学年として何が大切か考えよう

市川さんから「わたしたちのバトン受け取つてくれたね」と言われたとき

--	--	--	--

六年生のどんなことや心を引きつぎたいか、また高学年を意識して取り組んだことを書きましょう。

たとえば

今日の学習で何が分かりましたか

--

--	--	--	--